

変動利付きインフラ投資債券の発行とインフラ維持補修費の捻出

吉野直行/慶応義塾大学経済学部名誉教授/東京都立大学特任教授

Naoyuki Yoshino, Professor Emeritus of Economics, Keio University (Japan), Special Professor at Tokyo Metropolitan University, and Honorary Fellow, Asian Development Bank Institute (ADBI).

yoshino.a7@keio.jp

中東雅樹/新潟大学経済学部教授

Masaki Nakahigashi, Associate Professor of Economics, Niigata University

Abstract(報告要旨)

本論文では、インフラ投資に民間資金を導入するためには、利用者料金だけでなく、外部効果によりもたらされる地域経済の成長から生まれる税収の還元を提案する。Henry Goerge 低利では、固定資産税の還元を提案しているが、アメリカの場合には、固定資産税が地方税であるため、地価の上昇だけに着目した。しかし、インフラ整備による経済効果は、地域のビジネスの拡大、住宅地の拡大、雇用創出など、多岐にわたる。本論文では、実証分析により、所得税/法人税/固定資産税の増加を説明する。このような外部効果による税収の増加を反映させた「変動利付インフラ債券」を提唱する。これにより、民間投資のインフラへの誘導が可能となること、さらには、インフラの維持補修費も賄えることを説明したい。